

いちようの木コンサート



高岡小の児童と先生による合唱

8月24日、高岡小学校の校庭で「第13回 いちようの木コンサート」が開催されました。

このコンサートは、高岡小のシンボルである大いちようの木の下に皆で集まり、高岡の良さを再発見しようとして平成13年から始まりました。

当日は、高岡小児童と高岡幼児学園の園児による合唱をはじめとして、メセナ楽団の演奏、末吉俵踊り保存会の踊りなどが披露されました。集まった地域の方々は、すてきな演奏を聴きながら、高岡の夏を楽しんでいました。

サマーキッズ体験



びしょ濡れになって大はしゃぎする子ども達

曾於市観光特産開発センターときたん市場（財部町北俣）は共同で、子ども達の夏の思い出づくりを目的としたサマーキッズ体験を夏休み期間中に四回行ないました。

曾於市や都城市などから多くの子ども達が参加し、陶芸体験、竹を使った水鉄砲作り、釜でのご飯炊き、カレー作りなどの趣向が凝らされた体験を楽しみました。

特に、水鉄砲遊びでは、みんなびしょ濡れになりながら時間を忘れて遊んでいました。

精華女子高等学校吹奏楽部サマーコンサート



マーチングとカラーガード

8月31日、末吉総合センターで「福岡・精華女子高等学校吹奏楽部サマーコンサート in そお」が開催されました。同吹奏楽部は国内外で金賞・ワールドチャンピオンの受賞歴があり、全国でもトップクラスの实力です。

しっとりとした吹奏楽の演奏から始まったコンサートは、二部ではダンスの披露、三部ではマーチングとカラーガードと様々なパフォーマンスが鮮やかに展開されました。

その素晴らしい演奏に超満員の観客席は、感動と興奮に包まれました。

車イスがぴかぴかに



一台ずついいねいに磨きます

9月7日、曾於第6回ボーイスカウト隊が末吉岩南地区にある特別養護老人ホーム「輪光無量寿園」で車イス磨きの奉仕活動を行いました。この活動は、毎年敬老の日付近に行っており、今年で31回目になります。

当日は、隊員と指導者が車イス約50台の清掃にとりかかり、1台ずついいねいに磨きあげていきました。参加した隊員からは、「きれいになった車椅子をおばちゃんたちに喜んでもらえて良かった」と満足した声が聞かれました。



地産地消の学校給食

配膳される黒豚の回鍋肉

南九州畜産興業株式会社は曾於市、志布志市、大崎町の小・中学校へ学校給食の食材としてかごしま黒豚肉を提供しました。これは、地産地消と食育の一環として、平成19年から実施されています。

曾於市内では、黒豚・黒牛にちなんだ9月6日に、給食で黒豚料理が振舞われました。黒豚のホイコーローを食べた光神小学校2年生の中野千尋（なかのちひろ）さんは「とても美味しいです。あつという間に食べ終わってしまいました」と大満足の笑顔で話しました。



みんなで音楽を楽しもう！

大人数で楽しく演奏

9月1日、末吉中学校体育館でメセナ楽団主催の「自由演奏会inそお2013」が開催されました。これは、音楽と楽器が好きなら誰でも参加できるコンサートで、曾於市内での開催は今回で10回目です。当日は、市内学生を中心に78名の参加がありました。

上野の森ブラステューバ奏者の杉山淳（すぎやまじゅん）先生の指導のもと、参加者は熱心に練習し、本番では7曲を演奏しました。参加した小学生は「難しかったけど、みんなで演奏ができて、とても楽しかった」と話しました。



桐原の滝下流にヒガンバナを植栽

ヒガンバナを植える様子

8月25日、財部の「北校区よかふんし隊」を含む地域住民に「曾於市観光ボランティアガイドの会」と「曾於市でSOO快に暮らSOO会」が加勢をし、桐原の滝下流の道沿い約一キロにヒガンバナの球根一万個を植えました。

総勢30名の参加者は、汗を流しながらも、ヒガンバナの美しい姿を想像し笑顔で球根を植えていました。

参加された「SOO会」の中山会長夫妻は、「ヒガンバナが咲く頃見に行きます。楽しみがひとつ増えました」と話しました。



宝くじ助成金で整備されたイベント用品

宝くじの助成金でイベント用備品を整備

柳迫校区公民館が平成25年度コミュニティ助成事業で、発電機や音響などのイベント用備品を整備しました。この事業は、地区公民館組織等が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指すもので、財団法人自治総合センターが、コミュニティ活動に直接必要な設備の整備を支援しています。これらは、早速、夏祭りや敬老会で活用されました。これからも地域の活性化につながる事が期待されます。